

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 26 日 (2015.3.26)

【公表番号】特表 2009-535522 (P2009-535522A)

【公表日】平成 21 年 10 月 1 日 (2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報 2009-039

【出願番号】特願 2009-506954 (P2009-506954)

【国際特許分類】

D 0 6 M 15/55 (2006.01)

D 0 1 F 9/14 (2006.01)

D 0 6 M 10/00 (2006.01)

D 0 6 M 15/273 (2006.01)

D 0 6 M 101/40 (2006.01)

【F I】

D 0 6 M 15/55

D 0 1 F 9/14

D 0 6 M 10/00 A

D 0 6 M 15/273

D 0 6 M 101:40

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 4 日 (2015.2.4)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気化学的酸化によって前処理された炭素繊維において、該炭素繊維が複数のエポキシ樹脂とビニル成分と可塑剤とからなる調製物を、該調製物を備えた炭素繊維に対して 0.3 ~ 5 質量%の量で有し、かつ前記エポキシ樹脂は、少なくとも 2 つのエポキシ樹脂 E 1 と E 2 とから構成されている混合物 E であり、この場合、E 1 は、樹脂 1 kg 当たり 2000 ~ 2300 mmol の範囲内のエポキシ価を有しており、E 2 は、樹脂 1 kg 当たり 500 ~ 650 mmol の範囲内のエポキシ価を有しており、混合物 E 中のエポキシ樹脂 E 1 と E 2 の質量比 E 1 : E 2 は、1.2 の価を有するように選択されており、前記可塑剤として、芳香族ポリヒドロキシエーテル、またはアクリロニトリル - ブタジエンゴムにより変性されている樹脂が使用されており、前記ビニル成分として、N, N, N', N' - テトラグリシジル - m - キシレンジアミンのテトラメタクリレートエステルが使用されており、かつ前記調製物が、エポキシ樹脂混合物 E を 20 ~ 35 質量%、ビニル成分を 20 ~ 35 質量%、及び可塑剤を 25 ~ 40 質量%含有しており、全ての成分は合計して 100 質量%であることを特徴とする、電気化学的酸化によって前処理された炭素繊維。

【請求項 2】

前記調製物を、該調製物を備えた炭素繊維に対して 1.0 ~ 1.5 質量%の量で有する、請求項 1 記載の炭素繊維。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の炭素繊維からなる炭素繊維フィラメントを 3000 ~ 24000 本有する炭素繊維系。

【請求項 4】

請求項 1 または 2 に記載の炭素繊維からなる炭素繊維フィラメントを 1 2 0 0 0 ~ 2 4 0 0 0 本有する、請求項 3 記載の炭素繊維系。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 4】

【表 1】

表

調製物	フィラメント数	塗布量	見掛け上の層間 剪断強さ	層間エネルギー 放出率
		Wt. %	MPa	J/m ²
<u>水中において、</u> 2% E, 2% V, 2% P1	24,000	1.1	70	1319
<u>水中において、</u> 2% E, 2% V, 2% P1	24,000	1.5	69	1138
<u>水中において、</u> 2% E, 2% V, 2% P1	24,000	0.4	69	1020
<u>水中において、</u> 1.33% E, 1.33% V, 1.33% P1	12,000	1.1	69	1013